



報道機関 各位

【埼玉県・さいたま市同時発表】

記者発表資料

平成27年 6月 5日(金)

問い合わせ先：都市経営戦略部

担当：小池・安井・倉島

電話：829-1064

内線：2144、2145

第17回埼玉県・さいたま市企画調整協議会を開催しました。

埼玉県・さいたま市企画調整協議会の第17回会議を下記のとおり開催しましたので、その結果の概要をお知らせします。

記

1 日時 平成27年 6月 5日(金) 午前10時～午前11時10分

2 場所 埼玉県庁 庁議室

3 出席者

埼玉県		さいたま市	
中原健一	企画財政部長	大熊克則	都市戦略本部長
小島康雄	企画財政部副部長	濱里 要	都市戦略本部総合政策監
土田保浩	企画財政部地域政策局長	久代伸次	財政局財政部長

4 会議の結果

(1) 連携の方向性についての協議

次の事項について関係各課が取組の現状等を説明した後、連携の方向性について協議を行いました。

分野	協議事項	関係各課	
		埼玉県	さいたま市
環境	見沼田圃の保全・活用・創造における連携	企画財政部 土地水政策課 見沼田圃・三富地域担当 Tel 048-830-2195	都市局都市計画部 みどり推進課 見沼田圃政策推進室 Tel 048-829-1413
スポーツ振興	さいたま国際マラソンにおける連携	県民生活部 スポーツ振興課 普及指導担当 Tel 048-830-6953	スポーツ文化局 スポーツ部 スポーツイベント課 スポーツイベント第2係 Tel 048-829-1730

※内容についてのお問合せは、関係各課にお願いいたします。

今回協議の主な内容

1 連携の方向性についての協議

以下のテーマについて、連携の方向性について協議を行いました。

(1) 見沼田圃の保全・活用・創造における連携

(現状)

- 見沼田圃については、「見沼田圃の保全・活用・創造の基本方針」に基づき、埼玉県、さいたま市、川口市が協同して、治水機能を保持しつつ、農地、公園、緑地等として土地利用を図っている。また、基本方針では、行政の役割として、見沼田圃を保全・活用・創造する事業を積極的に推進するとともに、芝川流域の治水対策や農業の振興を図るとしている。
- 現在、県では、見沼田圃保全のための公有地化（買取り、借受け）、市民団体への管理委託や農業者への貸付け等の公有地利活用などの取組を行っている。
- また、市では、「さいたま市見沼田圃基本計画」に沿って、「サクラサク見沼田んぼプロジェクト推進事業」や「見沼田圃基本計画推進事業」などの取組を行っている。
- 今後、高齢化や後継者不足などにより農業の担い手不足が予想される中で、見沼田圃の保全・活用・創造の方策を検討するためには、県市で情報を共有し、課題を整理しながら連携して取り組んでいく必要がある。

(連携の方向性)

以下の方針の実現に向けて、県市担当課が具体的方策について今後協議を進める。

1 県市連携した協議の実施

埼玉県・さいたま市・川口市による見沼田圃土地利用連絡会議または別途新設する担当課長会議で、見沼田圃における県市の施策の実施状況や課題の把握とともに、課題の対応策について協議を行っていく。

(2) さいたま国際マラソンにおける連携

(現状)

- 平成27年11月15日に、「さいたまシティマラソン」をフルマラソン化し、リオデジャネイロオリンピック女子マラソン代表選考レースを兼ねた「さいたま国際マラソン」を、さいたま市内を中心としたコースで開催する。
- 県とさいたま市は、他の主催者及び主管団体とともに開催に向けた協議を行っている。
- オール埼玉で大会を盛り上げ、県内市町村の地域振興、産業振興を図るためにも県市の連携が必要である。

(連携の方向性)

以下の方針の実現に向けて、県市担当課が具体的方策について今後協議を進める。

- 1 関係団体との調整、ボランティアの確保、安全対策など、県市で連携して取り組んでいく。
- 2 県内市町村の地域振興策（観光やB級グルメブース等）、大会の盛り上げなど、県市で連携して大会主催者と協議していく。